

Thought-filled Head

思いが詰まった頭

作詞作曲 マイク・バス



起きて、琵琶湖の湖岸を歩いた、
アパートから膳所駅まで、昨日の朝早くに。
すぐに山に囲まれたとてもきれいな街の景色が目に見えた。
まるで絵のようで、ただ手を伸ばせば捉まえることができそうなくらいきれい。
やっと、昼寝が終わって、
古い木の前まで行ってたたずんだ。
いくつもの季節を超えてきたけれど、葉っぱはそれでも青々としていた。
座ってゆっくりと深呼吸をして、完全に幸せを感じた。
普段の忙しい日常から離れて、僕と僕の人生の間には何もない。
ただ、みんながこれを分かっていたらいいのに。時間を取ること、地球を待つこと、
一瞬止まってみること、電話に出ないでみることに、愛を感じることに。
僕は十分あげたかな？

思いが詰まった頭の上に雨が降って、家に帰ってきた。
昨日の夜の食べ残しがまだそのままテーブルに置いてある。
そして、君に電話しようと思って、電話番号を入れてから、
「元気にしてる？」と聞いた。そう、やっとしたかったことができた。
ただ、みんながこれを分かっていたらいいのに。見つけたいことを探すこと、
一瞬立ち止まってみること、どの橋を渡るか知っていること、列から離れること。
まだ時間はたくさんある。
けど、時間って何？

いつか僕たちは愛を追いかける、
この森の木を切り開いて、道を作っていく。